



舘鼻則孝（たてはな のりたか）

1985年、東京都生まれ。2010年、東京藝術大学美術学部工芸科染織専攻卒業。創作活動の概念として「Rethink」を掲げ、日本古来の文化や美学を独自の視点から捉え直し、現代の価値観を問い直す作品を制作している。花魁の高下駄から着想を得て制作された代表作《Heel-less Shoes》は、米国歌手のレディー・ガガに愛用されたことでも知られる。制作は彫刻・絵画・インスタレーションから舞台演出にまで及び、2016年にはバリのカルティエ現代美術財団で文楽公演を監督・演出した。岡本太郎記念館（2016）、山口県立萩美術館・浦上記念館（2023）などで個展を開催。作品は国立工芸館、メトロポリタン美術館、ヴィクトリア・アンド・アルバート博物館などに収蔵されている。

2019年より女子美術大学デザイン・工芸学科工芸専攻で特別招聘教授を務めている。

7. Shoemaking Tools, late 19th–21st century
Steel, wood, leather, and other materials
作家蔵 / Photo by Noritaka Tatehana
8. Heel-less Shoes "Lady Mary", 2021
Dyed cowhide, pig suede, coated glass crystal, metal fastener
作家蔵 / Photo by Noritaka Tatehana
9. 松竹梅鶴亀模様振袖 / 江戸時代（19世紀）
染分け繪子地、鹿の子紋、縫い締め紋
女子美術大学美術館蔵

Works by Noritaka Tatehana
courtesy of KOSAKU KANECHIKA.

交通案内

- 1 小田急線相模大野駅北口3番バスのりばから
神奈川中央交通「女子美術大学」行き終下車（約20分）
※平日・土曜日の午前10時前は
「グリーンホール前」4番バスのりばから乗車
- 2 JR横浜線古淵駅2番バスのりばから
神奈川中央交通「女子美術大学」行き終下車（約15分）

- ・車でご来館の方は隣接する市立相模原麻溝公園内の各駐車場をご利用ください。
- ・身障者用駐車場をご利用の際は、事前に当館までご連絡ください。

女子美アートミュージアム
〒252-8538 神奈川県相模原市南区麻溝台1900
女子美術大学相模原キャンパス10号館1階
Mail: bsk@venus.joshibi.jp
Tel: 042-778-6801 Fax: 042-778-6815
<https://www.joshibi.net/museum/>



Rethink Noritaka Tatehana — In the Hands of Time



舘鼻則孝 創作活動15周年記念

リシンク－舘鼻則孝と手しごと－展 2026.9.10^{Thu}－10.6^{Tue}

10:00～17:00（入館は16:30まで）日曜・祝日休館 / 入館無料

女子美アートミュージアム 〒252-8538 神奈川県相模原市南区麻溝台1900
女子美術大学 相模原キャンパス10号館1階

主催：女子美術大学 デザイン・工芸学科 工芸研究室 / NORITAKA TATEHANA STUDIO
共催：女子美術大学染織文化資源研究所
協力：女子美術大学美術館 / 読売新聞社
協賛：artience株式会社 / Zutti Mattia
後援：相模原市 / 相模原市教育委員会

artience Zutti Mattia



リシンクー舘鼻則孝と手しごとー展

「Rethink(リシンク)」は、舘鼻則孝が創作活動の概念として掲げる言葉です。歴史や文化を単に受け継ぐのではなく、現代の視点から捉え直すことで、新たな価値を生み出そうとする創造の姿勢を表しています。

本展では、その思想のもとに生み出された代表作《Heel-less Shoes》をはじめ、彫刻、絵画、版画、インスタレーションなど、15年にわたる創作活動を紹介します。

本展のテーマは「手しごと」です。完成した作品だけでなく、その背景にある素材研究や試作、制作工程、さらには日本各地の伝統工芸の担い手との協働にも焦点を当てます。作品がどのような思考と技術、

そして数多くの手しごとの積み重ねによって形づくられてきたのかをたどることで、創作の本質に迫ります。

また、女子美アートミュージアムの染織コレクションと、それらから着想を得て制作された舘鼻による新作を併せて展示し、過去と現在、伝統と現代が響き合う新たな表現を紹介します。

「Rethink」とは、歴史や文化を見つめ直し、新たな価値を生み出すための創造の実践です。本展が、その視点を通して「手しごと」の本質を見つめ直し、未来へ向けた新たな創造の可能性について考える機会となれば幸いです。

Rethink
Noritaka Tatehana

— In the Hands of Time



1



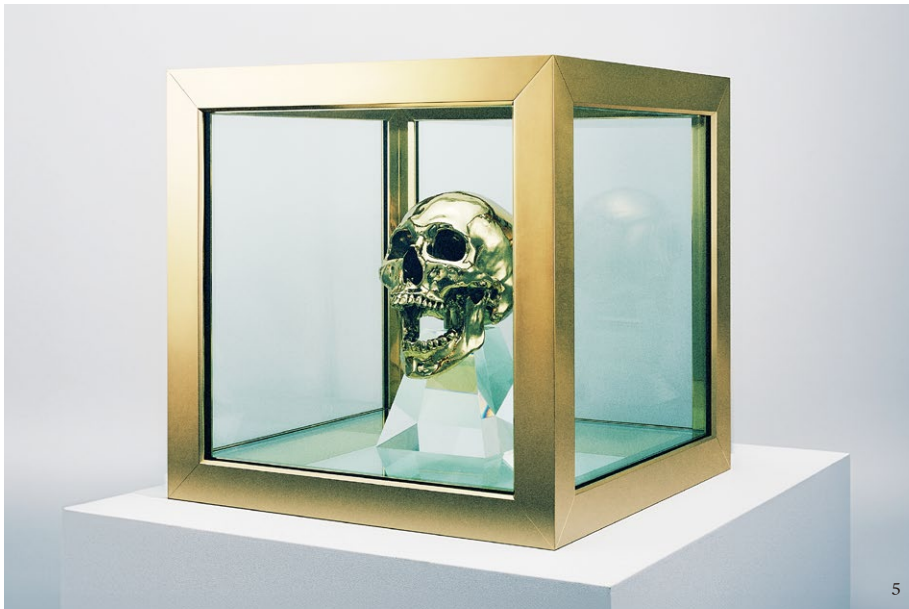
2



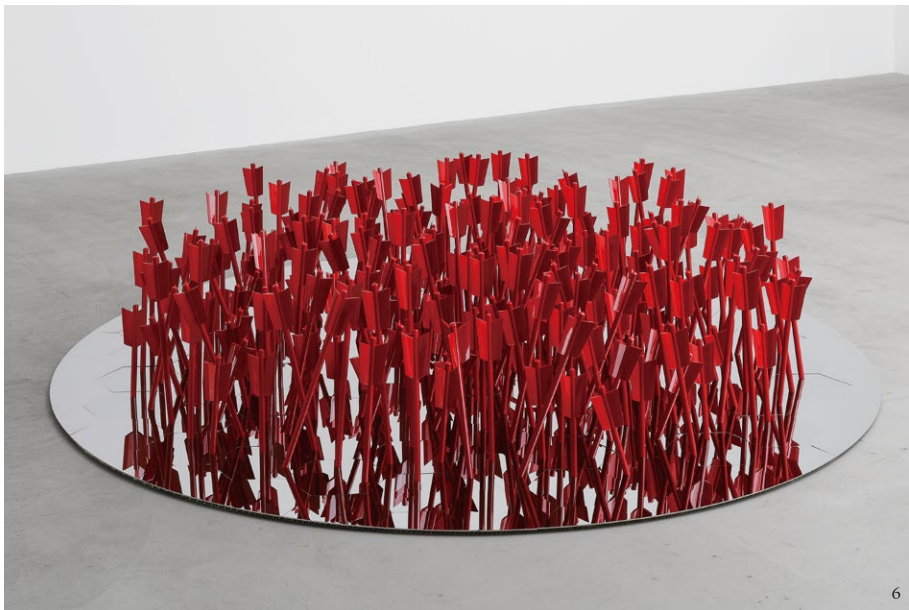
3



4



5



6

1. Heel-less Shoes "Atom", 2023
Dyed cowhide, Japanese braided cord, plaster, stainless steel, acrylic board
鈴木コレクション / Photo by Osamu Sakamoto
2. Woodcuts #17, 2019
Urethane coated wood
鈴木コレクション / Photo by GION
3. Heel-less Shoes "Re-Loafer", 2025
Dyed cowhide, metal fastener
Zutti Mattia Collection / Photo by Noritaka Tatehana
4. Descending Painting
"The Sun Breaking through Clouds", 2023
Acrylic on panel
作家蔵 / Photo by GION
5. Traces of a Continuing History
"The Laughing Man", 2015
Casted brass, acrylic, glass
作家蔵 / Photo by GION
6. Arrows, 2019
Urethane coated wood, stainless steel
作家蔵 / Photo by Keizo Kioku

Works by Noritaka Tatehana
courtesy of KOSAKU KANECHIKA.

展覧会特設サイト
rethink.noritakatatehana.com

